



学校だより

12月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和7年11月28日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

選ぶのは 自分

こう ちょう ほしな けいこ
校長 保科 桂子

今年も最後の一か月になります。11月には急なインフルエンザの増加に伴い、学級閉鎖等の対応をいたしました。急なことだったにもかかわらず、保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございます。まだまだ油断はできませんが、手洗い、うがい、咳エチケットなど基本的な対応を丁寧に指導していきたいです。ご家庭でも、睡眠、休養、食事など、引き続きよろしくお願いいたします。

現在6年生が卒業アルバムを作成しています。私も自分が小学校の時のものを大切に保管しています。（私はクラスの卒業文集委員でした）その小学校の時の卒業文集に当時の副校長先生が寄せてくださったメッセージをご紹介します。

ブレーキとハンドル

人間が他の動物と違うところはたくさんありますが一番だいじな点で違うのは、「人間には理性がある。」ということです。理性とは、「遊びたい。けんかしたい。」などの感情の動きをおさえたり、「勉強したくない。働くのがいやだ。」などの気持ちを「勉強しなければならない。働かななければならない。」という気持ちに変えさせたりする力を出すはたらきです。この理性のはたらきがあるから、人間は住みよい社会を自分たちの努力によってつくることができるのです。「理性」とは、自動車にたとえれば、ハンドルやブレーキのようなはたらきをするものと言えるでしょう。

ハンドルやブレーキのはたらきがよくない自動車に乗るのは自分にとって大変危険なことですし、他人にもひどいめいわくをかけることです。性能のよいブレーキとハンドルを持つ人となって、自分のまわりの人たちにより影響を与えることができるようになります。わたしたちが学校に行っている時はもちろんのこと、社会人となってからも常に勉強をし続けていくことが大事なのは、こういう調和のとれた人間になるためだと言ってもよいでしょう。

皆さんの将来に予想されるいくつかの試練は「ブレーキとハンドル」の性能を確かめ方向を誤らずに進んでいくための道しるべであるというふうに考えて、くじけずに乗りこえて行ってください。

卒業文集には副校長先生の美しい字で書かれていて、何か先生からの授業のようで、「卒業」ということばは一つもないけれど、小学校を卒業していくのだなという思いを抱かせてくれました。「どうして学校に行くのだろう」「なんで勉強をするのだろう」という答えの一つもここにあるのかなと考えます。

日常生活の様々な場面で様々な選択が繰り返されます。どのように考えますか。どのように行動していきますか。私も自分自身に問いながら、小学生の時の「自分」に恥ずかしくないように、一生懸命に生きていきたいと思っています。